

重点事務事業進行管理表

年度	令和4年度	No.	1	進行管理者	教育部長	
事務事業名	行政デジタル化推進事業（電子図書館システムの導入）					
事業の概要	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出抑制や3密対策、図書館に来館することが困難な利用者、視覚障害者等に寄与することを目的として、電子図書館システムを導入する事業					
これまでの経過	電子図書の導入については、武蔵村山市第七次行政改革大綱の推進項目として「市民の利便性を向上させるため、図書館への電子図書の導入について検討し、実施する。」と位置付けられており、令和4年度に検討、令和5年度に事業実施と定められている。					
本年度の予算措置	総事業費	12,164千円		うち 一般財源	3,094千円	
本年度の目標	令和4年10月を目途にシステムを導入し、供用開始する。					
上半期の計画と実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザルを実施し、受託者を決定（5月下旬） ・事業者と委託契約締結（7月上旬） ・システム関係の調整及び選書（7月～9月） ・職員の研修（9月） 		実績	<ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザルを実施し優先契約交渉事業者を選定（5月26日） ・委託契約の締結（7月7日） ・システム関係の調整及び選書（7月～9月） ・職員の研修（9月21日） 	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・電子図書館の供用開始（10月） 		実績	<ul style="list-style-type: none"> ・電子図書館の供用開始（10月） 	
中間評価	達成度	目標以下 ・ 目標どおり ・ 目標以上				
	取組の成果	当初の予定どおり、電子図書館を開設することができる見込みであり、市民の利便性向上に寄与できると考えている。				
期末評価	達成度	目標以下 ・ 目標どおり ・ 目標以上				
	取組の成果	令和4年10月に「むさしむらやま電子図書館」を開設し、市民の利便性向上に寄与することができた。				
	事業費の実績	総事業費	10,539千円		うち 一般財源	70千円
	今後の方針	電子書籍の蔵書数について充実させる。				